

事前質問の取扱いについての整理

※6名の委員から36の質問が寄せられた

【優先的に議論すべき話題】

NO	資料_ページ内容	論点	担当課	質問者	コメント
2	資料2 重点項目の選定	計画骨子や重点項目等の選定に係る考え方、決定するプロセスなど	障害福祉課	瀧本委員	
9	資料2 医療的ケア児の18歳以降の受け皿	対応可能な生活介護事業所の整備目標、医療型短期入所の整備事業の活用	障害福祉課	佐塚委員	
11	資料2 65歳問題	指標値や目標値の項目	障害福祉課	川越委員	別紙D
20	資料2 個別避難計画を策定した人数	策定が望ましい対象者ごとの策定率の推移、指標値・目標値について	障害福祉課	川越委員	
17	資料2 基幹相談支援センターの業務の整理や会議のあり方		障害福祉課	大友委員	吉川委員
33	アンケート調査 認定調査にまつわる業務	基幹相談支援センターの負担軽減	障害福祉課	川越委員	吉川委員
30	アンケート調査 福祉サービス受給者証発行の遅延	申請からサービス利用開始まで急ぐ必要がある場合の柔軟な対応	障害福祉課	川越委員	大友委員
13	資料2 望まないセルフプランを0にするための取り組み	基礎となるデータの確認、申請時に意向を把握する方法について	障害福祉課	川越委員	澁川委員
23	資料3 計画相談のモニタリング間隔（平均）の把握と経年比較	常勤換算数増、業務の効率化、適切なモニタリングの実施など	障害福祉課	川越委員	大友委員
1	資料1 緊急一時支援の認知率	事業の認知率を高めるための手立てとは	障害福祉課	大友委員	
14	資料2 地域生活支援拠点の実績	事業の指標を明確にすることや目標値の設定について	障害福祉課	川越委員	
15	資料2 緊急一時支援の利用実績（経年）		障害福祉課	川越委員	別紙C
5	資料2 みらいのとびら	相談の推移と医療や療育との連携の実際について	発達支援担当室	川越委員	
6	資料2 子ども発達センター（外来療育）	初診件数が減少した理由、終診後の対応フォロー	健康福祉会館	川越委員	
7	資料2 児童発達支援センター中核拠点	スーパーバイズ・コンサルテーション機能等の全体像を確認	健康福祉会館	川越委員	別紙
8	資料2 児童家庭支援センターを中核とした障害児支援体制整備	未就学児からの相談は中核拠点に集約することになるのかどうか	健康福祉会館	川越委員	吉川委員
28	アンケート調査 医療的ケア児の生活のイメージ	幼児期→学童期→中学・高校→18歳以降の生活の実際をもとに議論	障害福祉課	川越委員	山澤委員他
27	アンケート調査 障害児者の家族の状況を把握する必要がある	調査のあり方について	障害福祉課	大友委員	澁川委員
25	資料4 各会議体の構成と有機的な連携	今年度中に各会議体の役割や関係性について方向性を定めることに	障害福祉課	江波戸委員	吉川委員
21	資料3 統計資料のグラフ化	毎年度の進捗確認のために、どのデータをどのように示すべきか	障害福祉課	川越委員	別紙A・B

【次いで議論すべき話題】

4	資料2 「市民意識の醸成」について把握する方法	アンケート調査の設問など、調査方法について（再検討が必要）	障害福祉課	瀧本委員	
12	資料2 意見申出制度	制度の概要と市として県に申し出るべき内容についての検討方法とは	障害福祉課	澁川委員	
24	資料3 地域活動支援センター	二つの性質が異なる活動を併給する特例の運用	障害福祉課	江波戸委員	
26	資料4 障害福祉と医療との連携に関する課題	受入れ可能な医療機関や連携の窓口、相互理解を深めるための取組	障害福祉課	川越委員	大友委員